



秦荘中学校 学校通信

至誠

スローガン

「笑顔いっぱい、ともに学び、
ともに伸びる学校」

令和5年(2023年)

7月3日 第4号

発行者 久保田重幸

保護者・地域の皆さまへ

秦荘中学校における働き方改革の推進について

7月に入り、はじめとした蒸し暑い日々が続きますが、体調にお変わりありませんか。この先も猛暑が想定されます。皆さま、くれぐれもご自愛ください。

さて、今回は、「学校における働き方改革」をテーマにお話しします。すでに報道等でご存じの方も多いと思いますが、現在、学校教職員の働き方に対する注目が集まっています。なかでも問題視されているのが、教職員の長時間勤務です。本町においても、平成29年度(4～6月期)に調査がなされ、「教員1人の1ヶ月あたりの平均超過勤務時間



本校教員間で授業づくりについて検討する様子

が小学校で62時間、中学校で76時間である」ことがわかりました。本町では、これを受け、平成30年度より、町教委、教職員が一体となり「愛荘町教職員の「働き方改革」の取組」(裏面参照、以下、「町取組」)を推進してきました。推進の際には、保護者や地域の皆さんにもお伝えし、ご協力を賜り、一定の成果をおさめることができました。例えば、本校教職員の令和5年度(4～5月期)の教職員1人の1ヶ月あたりの平均超過勤務時間は、平成29年度中学校平均と比べて13%程度縮減することができました。皆さんのご理解、ご協力に改めて感謝申し上げます。ただ、本校教職員の月平均超過勤務時間は、2019年に改正された労働基準法で示された上限規制である月45時間を超えており、残された課題は深刻です。私たち教職員にはさらなる働き方の工夫が求められています。そこで、本校では、現在、町取組を基盤に「秦荘中学校 働き方改革取組計画」について検討し始めました。本計画は、町取組をもとに、本校教職員の働き方について改めて検証し、改善のための校内指針をとりまとめるものです。本計画では、単に教職員の超過勤務時間の縮減をめざすだけではなく、生徒、教職員の笑顔をともに実現することで、本校令和5年度学校スローガン「笑顔いっぱい、ともに学び、ともに伸びる学校」の実現をめざします。実際には、授業における指導の工夫や、きめ細かな生徒との関わりを大切にしながら、効率的に業務を進めることを目指します。最終的に、生徒の「笑顔」を生み出すことにつなげたいと考えています。保護者、地域の皆さまにおかれましては、その趣旨をご理解頂き、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

民生委員さん、児童委員さん 学校訪問をありがとうございました。

6月23日(金)に、秦荘中学校区の民生委員、児童委員23名の皆さまに、本校を訪問頂きました。授業参観のあと、本校教職員と懇談させて頂きました。懇談では、「秦荘中の先生方が、生徒一人ひとりに寄り添って指導しておられる姿を拝見し、安堵しました」、「民生委員、児童委員として、いざという時のために保護者と話せる関係をつくりたい」とのお言葉を頂きました。今後とも、引き続き連携させて頂けると幸いです。ご訪問をありがとうございました。